



みぞぐち幸治

みせます つたえます つなげます

みぞぐち幸治事務所
〒868 0006
熊本県人吉市駒井田町1952-34
TEL 0966-22-5800
FAX 0966-22-5802
office@mizoguchi.com
http://www.k-mizoguchi.com



10月9日/おくんち祭り・神幸行列

「夏から秋」そして「冬」へ、皆様いかがお過ごしのことでしょうか。国においては「まち・ひと・しごと創生本部」を中心に、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服するため、これまでにない異次元の大胆な政策を、中長期的な観点から、確かな結果が出るまで断固として力強く実行していく方針が示されました。

これまで、熊本県では「幸せ実感くまもと四年戦略」に基づき、県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れるよう様々な取組を進めてきました。

熊本県には豊富な農林水産物、豊かな自然や地下水、それぞれの地域には様々な地域資源が点在します。

また、九州の中心に位置しており、九州の各地域、拠点をつなぐ大きな役割も担っております。

今回、国が示した「人口減少克服」「地方創生」という観点から、今一度、それぞれの地域を見直し聞き直し、地域の魅力や資源を最大限に生かした主体的な取組を進め、熊本の活力を九州、さらには日本の活力につなげていかなければなりません。

私が生れ育った球磨人吉も人口減少は加速するばかりです。

「稼げる農林水産業を基軸とした地方創生」「企業の地方移転等の促進」「地方の中小企業への支援を通じた雇用拡大」「地域、家族の絆の再生」「世界を視野に入れた交流人口の拡大」「市町村間の広域連携」等々、今、なすべきことは何か、次の世代のためになすべきことではないか、しっかりと情報収集し分析しながら、大いに知恵を出し、汗をかきながら残された任期を全うしたいと思えます。



8月13日/馬氷川要望箇所視察

「絆」で支える「稼げる力」

活動 Photo ライブ!



7月26日/夏越祭り



10月17日/ひとよし球磨青年会議所例会にて講演



8月12日/SL人吉お出迎え



9月3日/紅取山要望箇所視察



9月10日/球磨畜産共進会



9月15日/下青井町敬老会



10月11日/青井阿蘇神社奉納四半的弓道大会

12月議会に登壇します。 ～一般質問を傍聴しませんか?～

12月5日(金)午前10時より、溝口幸治が定例県議会で一般質問に登壇します。

この機会と一緒に県議会を傍聴しませんか? 当日は後援会からバスを手配しております。県議会を傍聴希望の方は、事務所までご連絡ください。

『人吉・球磨地域における発達障がいに係る診療窓口』の開設について

熊本県では、本年度から熊大医学部内に発達障がい医療センターを開設し、県内の発達障がいに関する医療体制の充実・強化に努めています。その一環として、今般、同医療センターにおいて地元市町村等と連携して発達障がいに係る診療窓口を試験的に開設することになりました。

なお、概要は以下のとおりです。

- ①平成26年10月14日(火) 人吉医療センター小児科に発達相談外来を開設
- ②熊本大学医学部附属病院から専門医等を派遣 ③月1回からスタート
- ④診療の形態
 - ・診療時間 10:00～12:00(再診)、13:00～15:00(初診)
 - ・診療後には圏域内の市町村保健師や療養相談員等との意見交換等を予定
 - ・診療対象児は、乳幼児健康診査や就学時健康診断等で市町村保健師が診療を必要と判断した乳幼児に限定
 - ・診療に当たっては、療養関係機関へのつなぎや保護者支援のために原則として市町村の担当保健師が同席
 - ・事業開始から2～3年後を目途にスキーム全体の見直しを検討

▼編集後記

何かを伝えるというのは、哲学者であり教育者の森信三氏曰く、「岩に文字を刻みつけるような真剣な思いで伝えなければいけない」と思います。さまざまなことを言ったつもりでも、理解を得られていなかったり、形に表れるのは難しいものです。教えてやっていると、距離を置きたがります。そんな中でもメッセージが目についたら、しっかりと心の中に刻み込まれるように、日々真剣に情熱を持って伝えたいことは大事だと考えます。「みせます、伝えます、つなげます」という理念はこれからも変わらず、県民にとって何が必要かをしっかりと議論しお伝えしていきたいと思えます。<KT>

この会報のお問合せは
溝口幸治事務所
人吉市駒井田町1952-34
tel 0966-22-5800
fax 0966-22-5802
http://www.k-mizoguchi.com
E-mail:office@mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所
記載責任者 富山孝治



「護る」「育む」「魅せる」-球磨地域文化財広域連携マスタープランを策定しました-

私の平成21年6月の一般質問をきっかけに、県では平成22年度から24年度までの3年間をかけて、球磨人吉地域を対象に、文化財広域連携事業を実施しました。

人吉球磨の伝統的な古い神社等、73件124棟について、傷み具合や周囲の環境などを調査、また建てられた年代や価値が不明であったものについては、将来文化財の指定や登録を行い、観光や地域振興に活かすことを前提に、学術調査を行いました。これらの調査結果を受け、平成24年度に球磨人吉の歴史的建造物の保存と活用を検討する組織として、人吉球磨管内の市町村教育委員会を核とし、市町村の首長部局、球磨地域振興局などをメンバーに、球磨地域文化財広域連携協議会が設置されました。この度協議会では、球磨人吉に数多く残る文化財の保存と活用に向けた基本計画「球磨地域文化財広域連携マスタープラン」を策定しました。

今後は「護る」「育む」「魅せる」の観点から、様々な取り組みがはじまります。球磨人吉全体が、光輝くように私も力を入れていきます。

県立高等学校再編整備に係る球磨地域の素案が示されました。

- ①多良木高校、球磨商業高校及び南稜高校の3校を2校にし、新しい学校として発展的（新校A、新校B）に再編・統合し、現在の学科を活かした学科を設ける。
- ②新しい2校は球磨商業高校、南稜高校の校地に設置する。
- ③新校は平成29年に開校する。
新校開設以前に入学した生徒は、それぞれの学校で卒業させる。
- ④新校Aには
(1)普通科2学級 (2)普通科1学級（体育系コース・福祉系コース）
(3)商業系学科1学級 (4)情報処理系学科1学級

●教育内容の特徴

- ・地元の企業経営者との交流活動や海外研修等を通して、幅広い視点から球磨地域の現状や課題に対する理解を深めることにより、生徒が地域の魅力を再認識し、地域で生きていくことの意義を見出すような教育活動（いわゆる「球磨地域学(仮称)」といった学校設定科目の設置等）に取り組む。
- ・新校B(農業の専門高校)及び球磨工業高校(工業の専門高校)と連携した学習活動として、生徒が様々な分野における仕事の意義や役割を理解し、将来に対する明確なビジョンを持って進路選択を行うことができるような教育プログラムの導入を検討する。

⑤新校Bには

- (1)農業生産系学科2学級 (2)食品系学科1学級 (3)生活系学科1学級

●教育内容の特徴

- ・地元の農業経営者や国内外の有識者との交流活動を通して、幅広い視点から球磨地域の基幹産業である農林業の現状や課題に対する理解を深めることにより、生徒が地域における農林業の多様な可能性を認め、地域に提言していくことができるような教育活動（いわゆる「球磨農林学(仮称)」といった学校設定科目の設置等）に取り組む。
- ・新校Aと連携しながら、地元関連企業への訪問活動等を行うことにより、生徒が農産物等の生産から加工、流通及び販売に至るまでの一連の活動を実体験し、「人が生きること」の意味や「食」に関わる仕事の意義を考えられるよう、教育課程を工夫する。

「日越友好を誓い合う」 自民党青年局 ベトナム海外研修

八月二十六日から三十日まで、自民党青年局所属国会議員、地方議員ら総勢約六十名で海外研修を実施し、ベトナム社会主義共和国のハノイ、ホーチミン両市を訪問しました。



カン国家主席を表敬訪問

ベトナム政府からは破格ともいえる厚遇を受け、チュオン・タン・サン国家主席、グエン・シン・フン国会議長ら国家元首級との懇談が実現。また、トロー・フイ・ルア越日友好議連会長、レ・ホアン・クアン・ホーチミン市人民委員長ら要人へ表敬訪問し、懇談を行いました。



世界遺産のタンロン遺跡視察

- その他、
- (1)在留邦人との交流会
 - (2)日経企業の製麺工場
 - (3)わが国のODAにより建設が進む空港ターミナル
 - (4)大阪市の協力で事業展開中の下水処理場
 - (5)ベトナム戦争に関わる展示物を集めた戦争証跡博物館
 - (6)世界遺産のタンロン遺跡への視察
- など、連日にわたり精力的に日程をこなしました。
- さらに、最終日の夜にはサン国家主席の特別な計らいにより、国家主席府での晩さん会に全員で出席するという得難い経験もし、同国家主席とベトナムワインを酌み交わしながら日越友好の絆をさらに強めてきました。



天草市出身の池田さんは、「インターシップの活動を通じて、議員の仕事や熊本県の政治について学ぶことができ、今までより政治を身近に感じられるようになりました。私は特に人吉で三つのお祭りに参加したことが印象に残っています。準備のお手伝いもさせて頂いたことで、運営する方々の苦労や地域の伝統を後世に伝える大切さについて学ぶことができました。その他にも多くのことを学び、充実した二ヶ月間を過ごせました」と話していました。

今夏も議員インターシップを受け入れ、太田黒峻平君(熊本学園大学一年生)、下川真弥君(熊本大学一年生)、池田奈緒さん(熊本県立大学一年生)、新堀茜さん(熊本県立大学一年生)の四人が八月五日から約二ヶ月、議員活動を体験しました。

熊本県議会では定例県議会や委員会を傍聴。人吉市では駒井田町水天宮、相良三十三観音巡り、おくんち祭りなどを体験しました。



議員インターシップ を行いました。